

## 2012年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	津軽鉄道が結ぶまちづくりー伝統/文化の創造と地域社会の再生		
担 当 者	西城戸 誠		
実 施 時 期	2012年2月16日～19日	日 程	3泊 4日
実 施 場 所	青森県五所川原市、中泊町、つがる市ほか		
協 力 機 関	津軽鉄道サポーターズクラブ		
募 集 人 員	15～20名前後		
学 習 目 的	奥津軽地域の交通問題、産業、文化、観光から過疎地域のまちづくりと地域「再生」の方向性を考える		
行 程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2/16 五所川原街歩き、立佞武多の館、津軽鉄道と地域文化の創造と再生講演会</li> <li>・2/17 ストープ列車、斜陽館・新座敷、津軽塗り、金山焼き：津軽の伝統とその継承ワークショップ</li> <li>・2/18 小泊漁協訪問（食文化：奥津軽の観光資源）、着地型観光ワークショップ</li> <li>・2/19 冬の農業体験</li> </ul>		
宿 泊 場 所	住所〒 五所川原、中泊町、つがる市等	施設名	TEL
費 用	約 42000 円（現地までの交通費は含まない）		
事前・事後 講義の予定	ガイダンス1回（10月中の土曜日） 事前学習会3回（11, 12, 1月の土曜日に実施） 事後学習会1回（4月に実施）		
注 意 事 項	(1)参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。成績評価は不合格（E評価）とします。 (2)事前講義の日程については、後日掲示する。各自、確認をしておくこと。 (3)募集人数が一定数に達しない場合は、実施しません。		
評 価 方 法	事前準備・学習、現地での活動、事後活動（レポート作成）		

2012年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	<b>国際法を感じる研修旅行</b>		
担当者	岡松 暁子、武貞 稔彦		
実施時期	2013年3月11日～18日または19日 (前後数日の変更の可能性有)	日程	7泊9日 (または6泊8日)
実施場所	オランダ (アムステルダム、ハーグ、デルフト) ドイツ (ハンブルク、リューベック)		
協力機関	在オランダ日本国大使館、国際司法裁判所、国際刑事裁判所、化学兵器禁止機関、 在ハンブルク日本国総領事館、国際海洋法裁判所		
募集人員	約25名 *4年生は単位の取得はできず、また奨励金給付の対象とはならないが、参加は可。		
学習目的	国際法が実際に使われている現場 (国際裁判所、化学兵器禁止機関) を訪れ、国際社会の秩序がどのように維持されているのかを体感する。また、国際法により保護されているリューベック旧市街地 (世界遺産) を訪れ、見識を深める。さらに、アンネ・フランクの隠れ家やノイエンガンメ強制収容所を見学し、ナチスによるユダヤ人迫害について学ぶ。その他、外国の歴史や文化に触れ、日本を振り返りつつ、国際感覚を身に着ける。		
行程	1日目 成田→アムステルダム 2日目 アンネ・フランクの家、美術館、市内観光 (アムステルダム) 3・4日目 国際司法裁判所、国際刑事裁判所、化学兵器禁止機関 など (ハーグ) 国際法の父・グロティウスの生地見学 (デルフト) 5日目 ハーグ→ハンブルク 市内観光 (ハンブルク) 6日目 国際海洋法裁判所 (ハンブルク) 7日目 世界遺産の街訪問 (リューベック)、ノイエンガンメ強制収容所 8日目→9日目 ハンブルク→スキポール→成田		
宿泊場所	いずれの都市も、市内のホテルに宿泊 詳細は後日揭示。	施設名	後日、揭示
費用	約25～28万円 (航空運賃、宿泊費、朝食、昼食、現地交通費、団体旅行中の税金・サービス料・チップ、成田空港施設使用料・旅客サービス料、現地空港税、燃油サーチャージ・航空保険料を含む。但し、燃油サーチャージの額は変更の可能性有。) *夕食代、旅行傷害保険代等は含まれない。金額は参加人数によって変化する。 <b>奨励金制度 (9万円) 適用有。</b>		
事前・事後 講義の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前講義5回、事後講義2回を予定 (詳細は説明会及び選考会にて連絡する)。</li> <li>・説明会は前期、後期の2回行う。 前期は、5月9日 (水) 12時55分より、BT0706教室にて開催する。</li> <li>・選考会の日程は後期になってから掲示板にて周知する。</li> </ul>		
注意事項	<p>(1) 参加許可後に、キャンセルをしないこと。キャンセルをした場合には、費用負担をしてもらう場合があるので注意すること。</p> <p>(2) 出発までに、パスポートを取得しておくこと。(有効期間が帰国日以降3か月以上あること)</p> <p>(3) はしかの予防接種を済ませていること。</p> <p>(4) 旅行傷害保険に加入すること。</p>		
評価方法	事前・事後講義への参加、現地での活動、レポート等により総合的に評価する。		

2012年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	フィールドスタディ・イン・オーストラリア ～オーストラリアで英語と環境保護を学ぶ～		
担 当 者	ストックウェル エスター /長峰登記夫		
実 施 時 期	3月に2週間程度	日 程	14泊 15日
実 施 場 所	オーストラリアのクィーンズランド州のゴールドコーストにあるボンド大学附属 語学学校(Bond University English Language Institute (BUELI))		
協 力 機 関	ボンド大学附属語学学校(Bond University English Language Institute (BUELI))		
募 集 人 員	20名		
学 習 目 的	英語の語学とともにオーストラリアの自然環境の保護などについて学ぶ		
行 程	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 英語の語学学習</li> <li>● 環境保護についての学習 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ Water Safety Tuition and Sand Dune Maintenance Program に参加し、ビーチの環境保護に貢献する (資料参考)</li> <li>➢ Currumbin Wildlife Sanctuary にて野生生物を保護する方法について学ぶ</li> <li>➢ Paradise Country にてオーストラリアの牧場の生活を見学する</li> </ul> </li> <li>● 大学での講義など <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ボンド大学の Institute of Sustainable Development &amp; Architecture の講義を聴講する</li> <li>➢ フィールドスタディについて感想・意見を交わすディスカッション・クラス</li> </ul> </li> </ul>		
宿 泊 場 所	住所〒 ホームステイ	施設名	TEL
費 用	約 30 万円 (学生 1 人当たり) (往復航空券、保険、現地の各費用-英語の授業の授業料、フィールドスタディの参加費・交通費、ホームステイの宿泊費等を含む)		
事前・事後 講 義 の 予 定	実施しますが、現時点で日時は未定。後日、掲示で発表します。		
注 意 事 項	(1)参加許可後にキャンセルをしないこと。交通費等費用が高額であること、旅行業者との契約に基づいて実施するので、キャンセルをした場合、費用の一部または全部を負担してもらうことがあります。		
評 価 方 法	レポート等で総合的に行います。		